

# ◆ ☆ ★ ☆ ◆ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ◆ 〆 君の未来を！ ◆ ☆ ★ ☆ ◆ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ◆

令和6年12月号

慶進中学校・高等学校  
進路部  
令和6年12月1日発行

共通テストまで残り48日です。3年生は、ここから受験本番まで、やるべきことを最後までやり続ける平常心が求められます。学習の積み重ねに対する成績の上昇は、階段状にアップしていきと言われています。学習の成果が、成績上昇として現れるまでにタイムラグがあります。つまり、今までのがんばりの成果が現れるのは、これからなのです。「やるべきことをやれば最後まで伸びる」と信じて、第一志望合格に向かって強気で進んでいってください。また、共通テストに向け、今のうちから生活リズムを整えましょう。特に、受験勉強中に迎える年末・年始で生活リズムを崩さないように気をつけること。また、受験本番までは、スマホや漫画を控えることは絶対です！ 集中力を高めていきましょう！！

1・2年生は、ベネッセ模試が返却され、自分の学習状況を確認する時です。模試で間違えた問題は、自分の「伸びしろ」です。今から冬休みにかけてじっくり時間をかけて復習しましょう。1月には、またベネッセ模試がありますよ。

◆ ☆ ★ ☆ ◆ ☆ ★ ☆ ★ ☆ ◆ ☆



## ●大学入試トピックス 2025年度入試(現3年生が受験する入試)の志望動向

第1回駿台・ベネッセ大学入学共通テスト模試(9月実施)志望動向 (ベネッセハイスクールオンラインの記事から抜粋して作成)

【入試環境の変化・受験概況】:国公立大と私立大で人気に偏りはみられない。私立大では共通テスト方式の志望者数が増加。

18歳人口は2024年度入試まで減少が続いていたが、2025年度入試では約110万人に増加すると予想され、現役生の人数はやや増加すると考えられる。模試の受験者数は対前年指数102とやや増加し、18歳人口と同程度の増加率となった。国公立大の志望者数は対前年指数103、私立大は103とやや増加しており、国公立大と私立大で人気の偏りはみられていない。また、私立大では特に共通テスト方式の志望者数が対前年指数108と増加している。

【学部系統別の志望動向】:語学、国際関係学、社会学(観光学)系統が人気回復。一方、明確な理系人気の傾向はみられなくなった。

国公立大では、語学、経済・経営・商学、国際関係学、総合科学、歯学、理学系統などで志望者数の増加が目立った。国公立大を中心に情報に関連する学部の新設・定員増が続いており、特に総合科学系統の中の総合情報学系統で志望者数が対前年指数112と増加が目立っている。新型コロナウイルス感染症の5類移行の影響もあり、語学・国際関係学系統の人気の回復傾向がみられる。また、観光学系統の志望者数の対前年指数が国公立大で107、私立大で113と増加しており、こちらも人気回復が続く可能性が高い。近年は理系人気の傾向が続いていたが、今回の模試動向では国公立大、私立大ともに明確な理系人気の傾向はみられなくなっている。

【国公立大の志望動向】:特に難関国立10大の志望者数が増加。

設置区別別にみると、国立大の志望者数は対前年指数103、公立大は104となった。これまでの模試動向では共通テストの教科・科目数が比較的少ない公立大の志望者数が増加する傾向がみられていたが、今回の模試動向ではその傾向が弱まっている。大学群別にみると、難関国立10大(北海道大、東北大、東京大、東京科学大、一橋大、名古屋大、京都大、大阪大、神戸大、九州大)の志望者数は対前年指数105、ブロック大(筑波大、千葉大、横浜国立大、新潟大、金沢大、岡山山、広島大、熊本大、東京都立大、大阪公立大)は103となった。なお、2025年度入試では大学・高専機能強化支援事業により、情報系の学部の入学定員の増加が多くみられている。

【私立大の志望動向】:難関私立大では特に共通テスト方式の志望者数が増加。

早慶上理、MARCH、関関同立の難関13私立大全体では、志望者数の対前年指数は一般方式で104、共通テスト方式で116と、共通テスト方式の増加が目立つ。難関国公立大の併願校として私立大の共通テスト方式を志望する傾向が強まっていると考えられる。

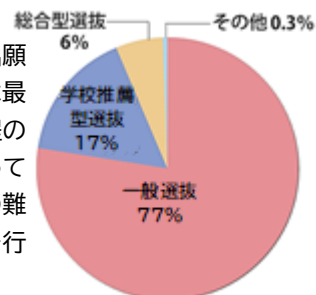
## ●国公立大学一般選抜の仕組み(1・2年生)

(河合塾大学入試情報サイト「Kei-Net」の記事を基に作成)

大学入試を大きく分けると、一般選抜、学校推薦型選抜、総合型選抜があります。右下のグラフは国公立大学の募集人員の割合を入試選抜方法別にみたものです。近年、総合型選抜や学校推薦型選抜の募集人員枠が拡大していますが、依然として一般選抜の募集人員枠が全体の約8割を占めています。国公立大学志望者は、まず一般選抜での受験を考えて受験勉強をスタートすべきでしょう。

国公立大学の一般選抜は、1次試験的役割を果たす「共通テスト(以下、共テ)」の得点と、大学別に実施される「2次試験(個別学力検査)」の得点の合計で可否を判定するケースが一般的です。受験者は、共テの自己採点を行った後、志望する大学に願書を提出します。出願期間は、共テの約1週間後からスタートし、約10日間となっています。思うような得点でない場合は、当初考えていた出願校を変更することもありえます。出願時に慌てないよう事前に複数の候補を挙げておくことが必要です。

2次試験は「前期日程」「後期日程」の2つの日程に募集人員を振り分けて実施され、それぞれ1校ずつ出願できます。また、一部の公立大学で「中期日程」を設定する大学もあり、これらをあわせると国公立大学は最大3校の受験が可能となります。ただし、前期日程で合格して入学の手続きを行うと、中期日程、後期日程の合格の権利を失います。また、前期日程と後期日程の募集人員の割合は8:2と圧倒的に前者が高くなっており、複数回の受験機会があるとはいえ、実質的に前期日程を中心とした仕組みとなっています。一部の難関大学や医学科では、共テの成績を用いて受験者を事前に選抜したうえで2次試験を行う「2段階選抜」を行を実施しています。それらの大学では、共テの成績次第で2次試験を受けずに不合格となる場合もあります。



## ●先輩の合格体験記

今月は、卒業した先輩方の「こうしておけば良かったこと」を掲載します。

本当に1・2年生のうちからもっと勉強すべきでした。特に数学は苦手意識があり、手を付け始めるのが遅かったため、十分な対策が取れず、本番も点数が全然取れませんでした。わからないことは放置せず、先生や友達に聞いたり、動画を見たりして解決しておきましょう。

きちんと家で勉強すれば良かったです。放課後、学校の自習室で7時までは集中して勉強していましたが、家に帰ってからはだらけていました。現実逃避ばかりで、自分の状況を見られてなかったからです。早くから自分自身を見つめ、将来の自分の姿を想像し、目標を定めるべきでした。

英語や国語の単語帳について、一冊すべてを覚えたと思っていても、しばらく放置するとやはり忘れてしまいます。定期的に少しでも時間をとってチェックすると良いと思います。さらにチェックの際に、英語であれば2つ目の意味を、国語であれば関連語などを覚えると、さらにGood！

試験前の科目の確認は、問題用紙、解答用紙ともに、絶対に欠かさないでください。私は共テ本番で世界史Bを解くはずが、間違えて世界史Aを途中まで解くという大失態を犯しました。大量失点につながってしまいますし、メンタルもやられるので、日頃から確認を怠らないようにしてください。

1つ目は、スマホの時間制限です。息抜きのつもりが、思ったよりかなり使い続けていたということがしばしば起こりました。屋外で息抜きすることをおすすめします。2つ目は、模試の徹底的な復習です。間違えた問題の答え、解法は確認していましたが、解き直しまではしていませんでした。また、正解した問題も解説をしっかりと読んでいませんでした。解き直しは同じミスの防止、解説の熟読は関連知識の確認につながるのので、可能な限り行えば良いと思います。皆さん、自分を信じて突き進んでください！ 応援しています。

## ●共通テストまであと1ヶ月半～準備することは？

① 受験票の確認と準備:12月中旬以降に、大学入学共通テストの受験票が学校に届きます。2学期の終業式までに、受験のための説明会を開き、そのときに配付します。

◎ 受験票 ◎ 写真票→写真を貼り、試験当日、受験会場に持参する。  
◎ 成績請求票→国公立大学や共通テスト利用の私立大学を出願するときに使います。それまで大事に保管してください。  
氏名や生年月日が間違っているときは、再発行の手続きを各自でしてください。(受験案内参照)

② 腕時計の準備:試験会場には時計がないと思っておくこと。仮にあったとしても、自分の席から見えないかもしれません。自分の時計を持っておく必要があります。スマホは机に出すことができません。通信機能のある腕時計は絶対にいけません。カンニングとみなされ、受験資格を失います。カチカチと音の出るものは迷惑になるのでやめましょう。時刻を見るだけのシンプルな機能の腕時計を用意してください。

③ 受験会場の下見:受験票に、受験会場が記載されています(例年、ほとんどの生徒は山口大学工学部)。冬休みの間に一度、当日使う交通手段で会場に行ってみて、どのくらい時間がかかるか計っておきましょう。車で送ってもらう場合は、渋滞や事故の危険性も考慮し、十分な余裕をもって到着できるように考えておきましょう。雪が降ることも考えられます(山口大学工学部は坂の途中！)。雪が降ったらどうするか、ご家族で相談しておいてください。

④ 生活リズムを整える:冬休みに夜型生活にならないよう、「受験の日起きる時間」に起きる生活を心がけてください。受験会場の下見をして、当日起きる時間を決め、その日にスッキリ起きられるように毎日同じ時間に起きましょう。

## ●「アドバンスコーザ」活動報告

アドバンスコースでは学期に1回(年3回)、「アドバンスコーザ」と称する進路講演会を実施しています。この行事では、さまざまな分野の第一線で活躍されている方をお招きし、仕事や研究の内容、社会人として求められる資質についてお話いただくことで、生徒自らの志を高める契機としています。

～過去の講演のテーマ～

- 「広告代理店の仕事について」
- 「地方公務員の仕事について」
- 「銀行・コンサルタント業について」
- 「国際貢献の仕事について」
- 「研究・開発職の仕事について」
- 「建築士の仕事について」



(第32回アドバンスコーザの様子)

## ●国公立大学一般選抜の願書取り寄せ

国公立大学の募集要項の発表は12月中旬までに行われ、願書の取り寄せができるようになります。募集要項は年内までに入手しておくで安心です。受験大学が、共通テスト結果次第で変わる可能性がありますので、無駄になるのを覚悟の上で、受験する可能性のある全ての大学の願書を取り寄せておくことをオススメします。

## ●私立大学の出願開始

私立大学の一般選抜の出願時期は12月下旬から1月下旬の間が多いです。年が明けると共通テストの受験など何かとバタバタするため、早く受験校を決めて、出願期間が始まったらすぐに出願を済ませることをオススメします。出願の際、高校が発行する調査書が必要になります。「一般選抜連絡票」を期限内に担任に提出し、冬休み中に、調査書を受け取るようにしましょう。(調査書作成には時間がかかります。注意してください。)また、何校か受験する場合、出願締め切り、試験、合格発表、入学金納付締め切りなどのスケジュール管理が重要になります。

## 12月の進学スケジュール

4日(水) 大学訪問(ⅠA)  
6日(金) 小論文模試(ⅠⅡG)  
7日(土) GTEC(ⅠS)  
7日(土) 進学ガイダンス(ⅠG)  
13日(金) 小論文模試(ⅡS)  
20日(金) 小論文模試(ⅠA)  
21日(土) 進路講演会(ⅡASG)  
21日(土) テーマ発表会(ⅠS)  
23日(月)～26日(木) 保護者会  
24日(火) 終業式、成績配付  
日時未定 共通テスト受験票配付&説明会(Ⅲ)